

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 1 月 27 日 (2005.1.27)

【公開番号】特開 2003-279978 (P2003-279978A)

【公開日】平成 15 年 10 月 2 日 (2003.10.2)

【出願番号】特願 2002-80144 (P2002-80144)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/13357

F 2 1 S 2/00

G 0 2 B 5/02

// F 2 1 Y 103:00

【F I】

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 B 5/02 B

F 2 1 S 1/00 E

F 2 1 Y 103:00

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 2 月 23 日 (2004.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液晶表示素子と、この液晶表示素子の背面側に配置された拡散板と、この拡散板と前記液晶表示素子間に配置された光学シートと、前記拡散板を挟んで前記光学シートと反対側に配置された線状光源とを具備する液晶表示装置であって、

前記拡散板は、前記線状光源と対向する面の光入射面の表面積と前記光学シートと対向する面の光出射面の表面積とが異なることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

前記拡散板は、前記光入射面側の表面積が前記光出射面側の表面積より大であることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記拡散板は、前記光入射面側の表面が波状の曲面を有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記拡散板は、前記光入射面側の表面が波状の曲面を有し、かつ波状の頂上が前記線状光源の略直上に位置することを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記拡散板は、前記光出射面側への光透過量が前記光入射面側の波状の曲面の波状の谷底と頂上とで異なることを特徴とする請求項 1 乃至 4 の何れかに記載の液晶表示装置。

【請求項 6】

前記波状の曲面のピッチは、前記線状光源のピッチと同じであることを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の液晶表示装置。

【請求項 7】

液晶表示素子と、この液晶表示素子の背面側に配置された拡散板と、この拡散板と前記液晶表示素子間に配置された光学シートと、前記拡散板を挟んで前記光学シートと反対側に

配置された光源とを具備する液晶表示装置であって、  
前記拡散板は、前記光源側の面の表面積が前記光学シート側の面の表面積よりも大であることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 8】

液晶表示素子と、この液晶表示素子の背面側に配置された拡散板と、この拡散板と前記液晶表示素子間に配置された光学シートと、前記拡散板を挟んで前記光学シートと反対側に配置された光源とを具備する液晶表示装置であって、  
前記拡散板は、前記光源側の面の表面が波状の曲面を有することを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 9】

液晶表示素子間に配置された光学シートと、前記拡散板を挟んで前記光学シートと反対側に配置された光源とを具備する液晶表示装置であって、  
前記拡散板は、前記光源側の面の表面が波状の曲面を有し、  
前記表面の前記光源の略直上に、前記波状の頂上が位置していることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 10】

前記波状の曲面のピッチは、前記光源のピッチと同じであることを特徴とする請求項 8 又は 9 に記載の液晶表示装置。